

高齢者の生きがいと安全のために

その他の質問事項

- ▼ エネルギーの地産地消
- ▼ 通学路合同安全点検

公明党
なかむら
中村

つとむ
努



◆高齢者安全運転の確保

問 高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が多発している。免許の返納が進んでいるが、本市では農業や文化活動で車を運転する高齢者は多く、健康長寿の要因にもなっている。公共交通を充実させると同時に、高齢者安全運転支援装置設備補助導入はどうか。

答 本市では、中南信運転免許センターで70歳以上のドライバーにアンケートを実施。54%が免許の返納は考えていない。60%が安全運転支援装置の装着を希望しており、ニーズがあるため、導入に向け検討している。

◆バイオマスの発電は

問 塩尻市森林公社は電気小売事業者の認可を受け、売電事業を開始した。現在は太陽光発電会社から電気を調達しているが、明年竣工する木質バイオ

マス発電で発電する電力は森林公社の事業規模よりかなり大きく、全量買取りが契約条件と聞いているが、契約できるのか。

答 発電事業者との協議では、市内電力の需給バランスの確保、森林公社の経営基盤を含めた持続可能性の担保が必要だ。今後条件整備の検討をし、バイオマス発電所との個別契約に向けた合意形成を図っていく。

問 明年の竣工までには契約はできるか。

答 森林公社の決算が出ないと判断できないので、明年には無理である。



電気小売業者になった市森林公社

市民要望を捉え、計画的な事業の推進を！

その他の質問事項

- ▼ 公共施設等総合管理計画について
- ▼ 平成30年度決算と新年度予算について

◆小坂田公園再整備の必要と目的は

問 小坂田公園は、プールが閉鎖され、また国道から入りにくいことなどもあって、徐々に利用者が減少しているが、なぜ今、12億5千万円をかけたの再整備が必要なのか、緊急性とともに目的はつきりしない。

答 これまで施設の変更や改修を行っていないため、プールの閉鎖に加え施設の老朽化により総合公園としての役割が低下している。市内唯一の総合公園として市民が集う賑わいある公園として、再整備に取り組むものである。

要望 本市の課題の一つは、子供を連れて遊びに行くところが無いことだ。小坂田公園の賑わい創出なら、遊園地化などのアイデアもあるし、市民要望の多いプールの再開もある。また、サッカー場整備なら、中央スポーツ

◆体育施設の整備計画策定を

問 市営野球場の老朽化は著しく、高校野球でも使用されなくなっている。市内体育施設の整備計画を策定し、計画的に進めるべきではないか。

答 現在、本市には体育施設の整備計画はない。今後、どの施設を維持し整備をしていくのかについて検討する必要があると考えている。



小坂田公園グラウンド